

山江村議会だより

No.99

# まるおか



令和8年山江村消防出初式（1月11日）  
山江保育園園児による通常点検

## 目次

- 第7回定例会、第8回臨時会・・・ P2
- 一般質問・・・・・・・・・・・・ P3～7
- 編集後記「だんだんなぁ」・・・・ P8

令和8年1月31日発行 発行：山江村議会 編集：広報編集特別委員会

熊本県球磨郡山江村大字山田甲1356-1 ☎(0966)23-3401 FAX(0966)24-5669 山江村域内電話☎23-3401

# 令和7年第7回山江村議会定例会

令和7年12月10日から12日まで、山江村議会12月定例会が開催され、承認1件、同意1件、議案16件が可決されました。

## 可決した主なものは

### ■専決処分事項に関する承認

令和7年8月の大雨による村道の災害復旧について、緊急に予算措置する必要が生じたため、歳入歳出それぞれ3,801千円を追加し、11月7日に専決処分したものを。

### ■山江村教育委員会委員の任命に関する同意

現委員の任期満了に伴い、引き続き郡眞聖氏を適任者と認め、同意することに決定した。

### ■山江村消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の改正

消防団の再編における団員年報酬の特例措置を設けるため、条例の改正をしたもの。

### ■令和6年度林道向鶴線改良工事に係る公共工事請負変更契約の締結。

### ■令和7年度2災補河第5687号宇那川河川災害復旧工事に係る公共工事請負変更契約の締結。

### ■令和7年度山江村一般会計補正予算（第6号）

道路河川災害復旧工事費やJアラート受信機購入費など、歳入歳出にそれぞれ52,554千円を追加し、歳入歳出それぞれ4,668,711千円とするもの。

### ■令和7年度山江村特別会計国民健康保険事業補正予算（第3号）

会計年度任用職員に係る人件費の増額、及び予備費の減額に伴い、歳入歳出それぞれ既定の額とするもの。

### ■令和7年度山江村特別会計介護保険事業補正予算（第2号）

システム改修委託料など、歳入歳出にそれぞれ396千円を追加し、歳入歳出それぞれ627,556千円とするもの。

### ■令和7年度山江村特別会計後期高齢者医療事業補正予算（第2号）

有料道路通行料等の増額、及び予備費の減額に伴い、歳入歳出それぞれ既定の額とするもの。

### ■令和7年度山江村特別会計ケーブルテレビ事業補正予算（第2号）

雑入の増額など、歳入歳出にそれぞれ1,087千円を追加し、歳入歳出それぞれ21,412千円とするもの。

### ■令和7年度山江村簡易水道事業会計補正予算（第2号）

主に各水源地等電気代2,400千円、林道葛線仮設管及び配水管布設工事設計業務委託3,200千円など、収益的支出及び資本的支出の予定額を補正するもの。

### ■令和7年度山江村農業集落排水事業会計補正予算（第2号）

主に公共柵設置工事1,500千円など、資本的支出の予定額を補正するもの。

# 令和7年第8回山江村議会臨時会

令和7年12月25日、山江村議会12月臨時会が開催され、以下の議案が可決されました。

### ■令和7年度山江村一般会計補正予算（第7号）

物価高騰対策生活支援のための生活支援券発行に係る経費など、歳入歳出にそれぞれ196,518千円を追加し、歳入歳出それぞれ4,865,232千円とするもの。

### ■令和7年度山江村簡易水道事業会計補正予算（第3号）

物価高騰対策生活支援のため簡易水道使用料等を補助する経費に係る収益的収入の予定額を補正するもの。



北田 愛介 議員



## ■「栗の駅」整備計画の進捗と課題！

## ■山江村エネルギー計画の現状！

「栗の駅」整備の課題と運営計画は

**問**

現在、地権者のご理解とご協力により造成工事が進んでいます。現在の進捗状況と全体スケジュールは。

**答 企画調整課長**

令和6年度に用地購入完了。

令和7年度建設設計と造成工事、土地の借地契約に係る不動産評価、栗の駅運営方法等の検討を行い、野菜生産者等への事業参画のお願いと仮店舗の運用を行っている。

令和8年度においては栗の駅建設工事。商業販売ゾーン、直売所カフェ、公園整備、旧栗選果場解体工事を計画。

令和9年4月に商業販売ゾーン、民間6次化ゾー

ンのオープンを予定しており、令和9年度末に整備完了予定。

**問**

これまで村民説明会の開催や未来づくり協議会等での検討、更には仮店舗での販売を行っておられるが、現時点での課題と対応策は。

**答 企画調整課長**

多数のご意見をいただいております。現時点での課題は、栗の駅運営に向けての運営方法。運営者の公募を行い適切な運営方法を模索している。

直売所運営に向けて野菜生産者への呼びかけも行っているが今現在集まっていない。安定的な集出荷機能整備も課題である。

**問**

事業に係る具体的な資金調達と開設後の財政運営計画は。

**答 企画調整課長**

地方経済生活環境創成交付金、事業費50%補助の国、県との協議中その他有利な地方債を予定している。

開設5年後年間4千8百万円、10年後5千万円の売り上げを目標に6名程度の雇用を予定。



造成工事中の栗の駅建設地

山江村エネルギービジョンの達成状況と今後の展開は

**問**

山江村のビジョン達成のための具体的な事業実施状況と進捗状況は。

**答 企画調整課長**

2045年を目標年度としてゼロカーボン宣言を行い、再生可能エネルギー計画を策定してエネルギー100%自給自足を目指し、令和7年度において山江中と改善センターに太陽光設備を設置し農地でのソーラー支援に向けた意向調査の実施予定。万江川での小水力発電可能性調査に取り組んでいる。



赤坂 修 議員



## ■ 地域防災マップの活用について ■ 休耕田樹園地化検証事業について ■ 農地中間管理機構関連農地整備事業について

**危険箇所**の排除は？

**問**

地域版防災マップで危機管理防災監が中心となり、地域の方と巡回し発見された危険箇所の排除も重要と考えるが、マップの中で土砂堆積、崩土ありなどもあるが担当課で対応した箇所、予算措置が伴う工事等R6年度対応された箇所があるのか。

**答**

総務課長

R6年度対応した箇所はない。

**休耕田樹園地化検証事業の継続を!!**

**問**

休耕田樹園地化検証事業について、申請の状況は。

**答 産業振興課長**

数件の問い合わせがあったが実際に申請があったのは1件である。

**問**

この事業は来年度も継続されるのか。

**答 産業振興課長**

次年度も継続していきたいと考えているがこのような申請状況であれば他の事業に振り替えるよう国、県から指導があるかもしれないが、村としてはやっていきたいと考えている。

**受益者負担ゼロの基盤整備事業の推進を!!**

**問**

農地中間管理機構関連農地整備事業は、地元農家の負担なしで農地の整備ができ、農地バンクを通じた農地の貸借で担い手へ集積集

約化が進み、長期間の農地の貸借で地主は安心して農地を任せられ、担い手は計画的な営農ができる。高齢化が進む中で将来委託を考慮しておられる農家から見るとよい事業と思うが村として検討されたことがあるのか。

**答 産業振興課長**

村として検討したことはない。この事業の要件として、事業対象面積が5ha以上、農地バンクへの貸借設定、設定期間15年等の要件の他、農家個人の要望は若干あるが堰毎の要望が上がっていないので、この事業を計画したことがない。

**問**

今2025年農業センサスで熊本県の基幹的農業従事者は5年前から24%減少し、年代別でも全国から見ても60歳以上の農業従事者の割合は78%、

このように農家の高齢化、担い手不足で離農が進む中、山江村では、今現在堰毎の農業法人化を計画されている中、5年、10年先を見据え、今後、農家への情報発信を強化し農業委員会と連携して農地整備事業に取り組む考えはないか。

**答 産業振興課長**

今後農家の方の意向を踏まえ、農家の負担はなすが村の負担は1割とになっている。県にも情報を聞いたが、県内でも三つの自治体でこの事業を使って実際に基盤整備等を行っていると言うことなので、事業内容が山江村に合致しているのか、どういったところが参考になるのか聞きながら、事業のあり方について検討していきたい。



横谷 巡議員



## ■ 栗の駅オープン後の活性化 推進について

### ■ 若年層、子育て世代の移住 定住促進を！

### ■ 将来を見据えた保育施策について

栗を活用した共創の輪拠点として

問

栗という小さな果実から広がる共創の輪を通して、農業、企業、観光、教育等をつなぎ、村の発展を導く実践の場、拠点となるべきものと考えているかどうか。

答 企画調整課長

共創の輪を通じ、農業の活性化のため、栗を中心とした農林産物の販売、地元企業等パートナーと連携した活性化の推進、また訪れた方を村内の観光施設へ足を向けさせる導線や子供達が栗の駅で学ぶ地域学習や社会学習の実践、農業、企業、観光、福祉までもつなぐ拠点施設としてのコンセプトを大事にしながら、その実現に向けて歩みを進めた。

栗の生産現場の強化対策について

問

栗の駅が持続的に活性化発展していくためには、やま栗の生産量確保が何よりも不可欠であるが、生産現場の足もとの強化対策をどのように考えているか。

答 産業振興課長

樹園地の生産面積や樹種、苗木や肥料の補助状況の見える化をした栗台帳の整備を進め、今後の樹園地の集積化、生産量の確保に活用していく。樹木剪定の人員確保、有害鳥獣対策、作業の効率化、担い手育成などの課題を生産者全体で共有し、生産基盤足もとの強化に努めてまいりたい。

村の中心地に賑わいの分譲地造成を

問

地域資源、交通の利便性等を生かし、村の中心地に百人規模のスマールビレッジの街並みを創出し、賑わいの分譲地造成をしたらと考えるがどうか。

答 企画調整課長

林田団地、寺の下団地が老朽化し、建て替えの基本計画を作成中で、候補地の一つが味園地区であり、買い物支援も含めて、栗の駅もできるので、山江村の賑わい、活性化を図りながら、住んでみたい村に選ばれるように色んな施策を展開したいと考えている。

保育園経営のより良き方向性の探求を

問

少子化による園児数の減少は、今後の保育園経営に支障が出る事が予想される。

将来を見据えた保育園経営のより良き方向性を探求するため、官民双方の立場で、議論を重ねる検討委員会等の設置の考えはないか。

答 健康福祉課長

村の所有施設である章鹿倉、万江保育園の貸付期限が令和十年三月であり、園児数を見た保育園のあり方や財政面など軽減が必要であるので、令和十年三月の貸付期限を目途に諸々の検討をしていきたい。

この他に行政のAI活用戦略についての質問もありました。



白川 俊博議員



## 健全な行財政運営 上下水道の施設更新 交通指導員の処遇改善

行財政への改革は、民間活力の導入も検討！

**問**

令和6年度における本村の財政力等の指数は。

**答** 総務課長

実質収支比率は22.2%（赤字でなければ良好）、財政力指数は0.16（高いほど財政に余裕）、公債費比率は6.0%（15%を超えると警告ライン）

**問**

公表されている本村の財政諸指数と県内の順位。

財政諸指数の状況  
(令和5・6年度：指数%・県内順位)

市町村	財政力指数 (5年度)	順位	実質公債費比率 (5年度)	順位	経常収支比率 (6年度)	順位
山江村	0.15	42位	9.3	28位	9.52	32位

《参考》  
・財政力指数とは：数値が高いほど財政に余裕があるとされている  
・実質公債費比率とは：25%以下が基準で比率が高いほど財政の弾力性の低下を示す  
・経常収支比率とは：比率が高いほど財政構造が硬直している

**問**

経常収支比率が上昇しているが今後も予想される、健全な財政運営への行政改革の取組みは検討しているのか。

**答** 総務課長

健全な財政を維持した財政運営を考えている。徴収率の向上、使用料等の見直し、ふるさと納税の確保、生成AI等を活用した行政事務の効率化、職員数の削減、施設管理の見直し、更に民間委託等などの民間活力の導入を検討する。

水道施設は令和8年度から耐震化計画を進め、下水道施設は統合も検討！

**問**

水道管の耐震化、老朽化が進んでいる配水池の更新等の考えはないか。

**答** 建設課長

水道管の耐震化率は82.8%、配水池は耐用年数基準を経過していないが、来年度に水道施設の耐震化計画を策定予定、承認後財政と調整しながら施設の更新を行っていく。

**問**

下水道施設も供用開始後30年経過し、今後処理場の維持費拡大や大規模な修繕が懸念される、処理区の統合など維持管理費の削減の考えはないか。

**答** 建設課長

下水道施設は、現在維持管理適正化計画を策定中、処理施設の統合も課題として、今後検討して行く。

交通指導員の処遇改善を検討！

**問**

今年度から手当等の支給が改善されているがその内容は。

**答** 総務課長

各指導員の出勤回数にはらつきがあることから、基本の委託料を村からの支給、出勤に対して山江村安全協会からの手当支給に変更した、以前より若干増額となっている。

**問**

交通指導員の任務は休み返上、また厳しい自然状況の中での交通指導である、更なる処遇の改善の考えはないか。



街頭指導の様子

**答** 総務課長

業務状況や内容、また出勤回数などを確認し、交通指導員の方々の意見も踏まえて、今後改善については検討して行きたいと考えている。



立道 徹 議員



- 栗の駅について
- 黎明館について
- 淡島(濁毛地区の農地)について
- 坂本人吉線について
- 小中学校の不登校について

## 黎明館について

### 問

黎明館をどのような施設にされるのか。

### 答 健康福祉課長

これまで、黎明館は、小規模多機能施設として人吉市の民間事業所が平成28年4月から運営され、利用者及び職員確保等の理由で、令和5年2月から休止、6年3月末に廃止届を提出され、空き施設となっていた。

この空き施設の黎明館の利活用を含め、メディカルフィットネス事業に取り組むことになり、医療関係・薬に頼るのではなく、運動することで薬の量を減らし健全な身体を取り戻す目的である。メデイカルフィットネス事業とは、医療と運動を融合させ、住民のデータとデジタル技術を活用し、住民の健康を増進する事業で、その目的と

して地域の課題である高齢化や医療費の増大に対し、データに基づいた個別運動プログラムを提供することで、住民の健康寿命の延伸と医療費の適正化の実現を目指し、タブレット端末や体組成計などAIを搭載した機器を活用し、民間・大学・医療関係と産学官医の包括協定を結び、介護予防拠点施設の一環として活用を考えている。

### 問

館内の改装、器具等の購入に係る経費、財源、施設への経費、財源は。

### 答 健康福祉課長

改装費は、約638万円、社会福祉振興基金を取り崩し充当する。

令和8年度においては、約4千万円を見込んでいます。

地方経済生活環境創生交付金があり、補助率の内容により、10分の5か

ら10分の10で3年間、5年間の交付可能で、過疎対策事業債も活用し、一般財源の抑制に務める。

### 問

運営していく中に、一般財源の持ち出しはないか。

### 答 健康福祉課長

令和8年夏頃のオープン予定で、有資格者を有する民間企業の事業運営となり、協議会を設立し、ここで管理予定。現在、プロジェクトチームにおいて入会金、月額利用料金等を検討中であり、補助金、過疎債を活用し、一般財源の持ち出しがないように務める。



黎明館外観

## 淡島(濁毛地区農地)について

### 問

この農地を戻すのか、公園を造っていくのか。



濁毛地区の農地(川側)

### 答 産業振興課長

農家の方々の高齢化、継続しての営農への不安等があり、親水公園の候補地としてあがり、令和7年3月の意向調査、4月に説明会を実施し、10月に農地の災害復旧工事の廃工手続きを行い、親水公園としての整備を検討している。



# 議員活動の一コマ



## 第2回 熊本県町村議会議員研修会



令和8年1月20日(火)今年度2回目となる熊本県町村議会議員研修会が行われ、全議員が出席しました。今回は元読売新聞東京本社編集委員の青山彰久氏を講師に、「地方創生のゆくえと議会の役割」と題し、オンライン形式での講演会でした。

自治体議会は、地域の力を基盤に、地域の力を出す役割があり、住民の広場であることの重要性を講演され、意義深い研修となりました。

## 令和7年度 下球磨町村議会正副議長会研修会



令和8年1月23日(金)令和7年度下球磨町村議会正副議長会研修会が錦町保健センターで行われ、全議員が出席しました。

今回は熊本県南広域本部球磨地域振興局次長の畑中利徳氏を講師に、「広域連携による人吉球磨地域の課題解決に向けた取り組み」と題し、講演が行われました。

人吉球磨地域の課題に広域的に対応するため、振興局の人員を充実させることや、管内10市町村及び関係団体と連携を密にしていくことなど、人吉球磨地域の再生、発展に向けた取り組みを強化していくこと等を講演されました。

## だんだんなぁ

新しい年を迎え、気持ちも新たにスタートしました。

村民の皆さまには、日頃より議会広報へのご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、国内外の情勢や物価高騰など、私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく変化しています。

こうした時代だからこそ、身近な地域の声を大切にし、議会として何ができるかを考えていくことが求められています。

本年も山江村の暮らしに寄り添い、議会の動きをわかりやすくお伝えしてまいります。引き続きご意見やご感想をお寄せいただけましたら幸いです。

(文責 久保山 直巳)

【山江村議会広報編集特別委員会】

- 委員長/本田 りか
- 委員/白川 俊博
- 久保山 直巳
- 北田 愛介